

令和6年度 社会福祉法人 成光苑 ココリス 事業計画

【障がい施設経営方針】

1. その人らしく健やかにともに暮らし、希望をもって社会参加できる環境を提供する
2. 地域の中で個々のニーズに合った専門性の高い総合的なサービスを提供する
3. 地域にあって良かったと誰もが笑顔で過ごせる、信頼される施設運営を目指す

【中長期経営ビジョン】

1. 障がい福祉分野(児童発達支援・放課後等デイサービス・生活介護・障がい児相談支援)サービス等(地域ニーズとして求められる新たなサービスを含む。)を実践し、サービスの質の向上と、障がい児から障がい者まで切れ目のない総合的なサービスを提供します
2. 専門性、開拓性、独自性、継続性等を高め、地域に信頼される事業所を目指します
3. 福祉支援を必要とする地域の方が、誰一人取り残されることなく地域で暮らし続けることができるよう、持続可能で多様性と包摂性のある支援を目指します

【運営方針】(基本的な取組方向)

1. 確実、効果的かつ適正な事業経営
 - (1) 地域の福祉ニーズへの対応と事業継続のために未来志向で事業の多角化・多機能化を図る。【継続】
 - (2) 生産性向上を図るための課題認識をスタッフと共有し、業務の効率化・事務処理の省力化を図る。【重点】
 - (3) 適切な収益性の確保に向け、将来を見通した計画的かつ効率的な事業運営を行う。【継続】
 - (4) 令和8年度 事業開始予定 (仮称) 第二ココリス建設(障がい児相談支援事業、児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業)に向けての開設準備を行う。【重点】
2. 福祉サービスの質の向上
 - (1) 人種・年齢・性別・LGBT などによる差別やハラスメントを防止し、多様性や価値観を認め合う取組みを行い、スタッフに対する倫理教育の充実を図る。【継続】
 - (2) ご利用者やそのご家族への十分な説明と理解が得られたうえで、サービス提供を行うインフォームドチョイスを重視したサービス提供を徹底する。【継続】
 - (3) スタッフの専門知識の習得、技術向上のための専門研修に積極的に参加する。【継続】
 - (4) ご意見箱の設置やご家族へのアンケート並びに個別聞き取りなどの「声」を

収集し、更なるサービス改善や満足度向上に努める。また、スタッフ一人ひとりが日頃からご利用者やそのご家族とのコミュニケーションを図り、事業所として透明性や信頼性を高められるよう良好な関係の構築に努める。【継続】

- (5) 特に感染症対策における業務継続計画（BCP）のマネジメントにかかる訓練を行い、原則、業務継続を図る。【新規】

3. 人財確保と育成・定着

- (1) 介護ロボットやICT等のテクノロジーやいわゆる介護助手等を活用し、サービスの質の向上と業務負担の軽減を図る。【新規】
- (2) 障がい者雇用について、法定の雇用率を達成することはもちろん、より積極的な雇用を行う。【継続】
- (3) 様々な能力を活かせる職場づくりに取り組み、多様な人財の採用を行う【継続】
- (4) 「見える化・見せる化」を意識した積極的なPRによるに努め、法人のブランド力向上を図る。【重点】
- (5) 施設見学・施設実習を積極的に受け入れるとともに、実習指導者の養成を図る。【継続】
- (6) スタッフ間の人間関係を良好にし、かつ維持していくための組織風土づくりの足掛かりとするため、採用後3年未満（特に1年未満）のスタッフに対するフォローアップを意図的・計画的に実施する。また管理職が適宜事業所訪問を行い、スタッフと積極的にコミュニケーションを図ることで、育成・定着を図る。【新規】

4. 法人(施設)の特性を踏まえた取り組み

- (1) 地域に焦点を当てた事業展開
- ①愛育園の運動会や生活発表会等の見学
 - ②愛育園主催の「法人障がい児研修」や「地域子育て対策委員会」への参画を行い、保育部門との連携の強化を図る。
- (2) 地域における福祉推進
- ①福祉サービスご利用者及びそのご家族等からの相談・苦情に対して、誠意をもって是正・改善するための苦情解決・相談体制の整備・強化を行う。
 - ②製作品展示・販売や野菜等の収穫販売を通じて、高齢者施設との交流を図る。
 - ③職場体験やインターンシップを積極的に受け入れる。
- (3) 地域の社会的な援護を要する人々(いわゆる社会的弱者)への支援
- ①地域におけるソーシャルワークの中核的な担い手としてCSW(コミュニティソーシャルワーカー)等を配置し、自由で柔軟な発想をもって相談体制の構築を図る。
 - ②ご利用者が利用している福祉サービスの制度の狭間にある複合化する課題(ダブルケア、8050問題、ゴミ屋敷、子どもの貧困、虐待など)など、既存の制度による解決が困難な課題について、様々なステークホルダーと協力・連携しながら取り組む。

(4) 地域団体・法人間連携の取り組み

- ①大阪府社会福祉協議会セルフ部会に加入し、得られた知見等について、適切な事業運営に反映する
- ②常に地域と密接な関係を保つため、摂津市事業所連絡会・相談会に参加し、安定性・継続性・専門性のある経営基盤を活用しながら、地域における公益的な取組の推進を図る

(5) 災害支援・環境対策

災害支援ボランティアの養成に努める。

(6) 非常災害対策(事業継続計画を含む)

- ① 災害・感染症発生時のココリス版BCP(業務継続計画)による訓練を実施し、非常時の安全管理・業務継続が可能な体制を確立する
- ② コロナウイルス感染症等が発生しても、感染リスクを最小限に抑える予防策を徹底し、原則、業務継続する体制を確立する。

(7) 法人(施設)独自の取組み

①大阪しあわせネットワーク事業

生活困窮者に対する相談支援事業

生活課題の基金拠出 15,000円(1,000円×生活介護定員 15名)

②CSW(コミュニティソーシャルワーカー)配置による総合生活相談活動の実施

【各事業目標】

1. 生活介護事業

- (1) 看護師の配置により、医療的ケアが必要な方や重度の方に対しても専門性のある手厚いケアを提供する。【継続】
- (2) 障がい特性に応じたグルーピングを行い、一人ひとりに合ったプログラムを検討し提供することで個々のご利用者の自主性や強みを引き出す。また、余暇活動の充実を行い(祝日、土曜日)、社会性を身につけるプログラムを提供する。
外部(オンラインセミナー等も含む)・内部研修の積極的な活用により支援サービスの質の向上を目指す。【重点】
- (3) 地域清掃活動を通じた地域交流により、自主製作商品(PARACOCO)の地域への販売先の開拓を行なう。また、味生公民館との交流を図り、地域のイベントへの参加や、ココリスにおいてフリーマーケットや祭りを開催し、地域との交流を通じ、地域に開かれた施設づくりを目指す。【継続】

2. 児童発達支援事業

- (1) 臨床心理士・保育士・言語聴覚士・作業療法士等の専門職を配置し、子どもたち一人ひとりの得意なことや好きなことを尊重し、自信を持ち意欲的に参加できるプログラムを提供する。
また、必要に応じて発達検査などを取り入れ、個々の発達段階に応じながら個別療育や小集団での療育を行い、運動・認知・言語・社会性等の発達全体のサポートを目指す。【継続】
- (2) 子どもたちのご家庭や法人が経営する愛育園をはじめ、関係機関との連携を図り、子どもたちの達成感や満足感を大切にしながら、個々のライフステージに応じたサポー

トを目指す。【継続】

3. 放課後等デイサービス事業

(1) 一人ひとりの課題に合わせたプログラムを提供する。

また、個々のライフステージに応じ、小集団の中で学習・入浴・運動などのプログラムを通して、社会性を身につけることができるサービス提供を目指す。

子どもたちのご家族が長期休暇の時などは外出活動も取り入れ、社会経験を積むことができるプログラムを提供する。【継続】

(2) 子どもたちの心身等の状況に合わせて、臨床心理士や保育士、リハビリ専門職などによる訓練を取り入れることで、個々の発達に応じたサポートを目指す。【重点】

(3) 子どもたちとその家族を中心にチームとなって支援を行なうことを目的に、支援学校や地域の小学校など、関係機関等と連携を図る。【新規】

4. 障がい児相談支援事業

(1) 子育てに関することや就学時の悩み、卒業後の進路に関する相談などに応じ、地域の中で、信頼して頂ける事業所づくりを目指す。【継続】

(2) ご家庭や法人が経営する愛育園をはじめ、関係機関との連携を図りながら一人ひとりの特性に応じたサポート体制づくりを目指す。【継続】

【サービス実績管理】

障がい福祉事業所「ココリス」

事業所・部署		児童発達支援 (利用率)	放課後等デイサービス (利用率)	生活介護 (利用率)	障害児相談支援 (件数)
定数		10名		15名	35件(月)
令和5年度	目標	23.0%	68.0%	90.0%	288件(年間)
	実績 予測	22.0%	64.2%	79.0%	300件(年間)
令和6年度	予算	20.0%	65.0%	85.0%	252件(年間)
	目標	23.0%	68.0%	90.0%	300件(年間)

【令和6年度スタッフ体制】

事業所	児童発達支援 放課後等デイサービス	生活介護	障害児相談支援	合計
管理者		1		1
サービス管理責任者 児童発達支援管理責任者	1(兼務)	1		1
相談支援専門員			2(1)	2(1)
児童指導員 実務経験3年以上	2(2)			2(2)
指導員				
臨床心理士	1(1)			1(1)
保育士	5(4)			5(4)
生活支援員		7(4)		7(4)
医師		1(1)		1(1)
作業療法士				
言語聴覚士				
看護師		1		1
事務員	1(1)			1(1)
調理師		1(1)		1(1)
ドライバー		4(4)		4(4)
清掃員	1(1)			1(1)
合計	11(9)	15(10)	2(1)	28(20)

※()内、非常勤スタッフ人数を再掲

【安全・衛生管理(防犯を含む)】

1. 就業時間内に通常業務が終了できるよう、労働環境の改善を図る。
2. 車両事故を減少させるため、適正な運行に努めるとともに、車両管理・点検を徹底する。

【委員会等活動計画】

1. 委員会

委員会名	回数/年	委員会目的・内容(概要)
感染症予防委員会	4回 ※1	感染予防体制の構築
虐待防止委員会	3回 ※1	人権研修の企画、尊厳あるケア実現に向けて

※1 他会議と合同開催により効率的に実施。

2. 会議

会議名	回数/年	会議目的・内容(概要)
リーダー会議	12回	主任以上が参画し、事業の進捗状況など重要事項の検討
事業別会議	12回	児童発達支援・放課後等デイ、生活介護それぞれのサービスの質の向上、及び、個別ケアカンファレンスによる個別支援計画の充実
全体会議	12回	サービスの質の向上

【研修計画】(法人研修部分は別紙参照)

1. 地域別研修

研修名	回数/年	研修目的・内容(概要)	担当講師
人事考課者研修	1回	適正な人事考課を図るため、担当者を養成する	吹田 竜ヶ池ホーム 佐藤 施設長
ファーストステージ 研修Ⅱ (新任スタッフ 基礎研修Ⅱ)	6回	ファーストステージプログラムを基に、習得すべき知識(リスクマネジメント、抑制廃止、高齢者虐待防止、個人情報保護の概要及び認知症を通じての人権擁護、ISO、人事考課、法人理念等、介護保険制度の概要、アクシデントスタンダードマニュアル)及び介護技術について学ぶ	高槻 けやきの郷 中島 施設長

2. 施設別研修

研修名	回数/年	研修目的・内容(概要)	参加対象者
救急救命研修	1回	心肺蘇生の技術を学ぶ	新人スタッフ
人権研修	1回	人権意識の向上	全スタッフ
虐待防止研修	1回	障がい(児)者虐待を防止する	
感染症予防研修	2回	定期的に感染予防対策	
BCP訓練研修	1回	事業継続ができるよう訓練実施	
障がい特性格別研修	3回	障がい特性についての理解	

【令和6年度大規模修繕(建物、設備)・備品購入計画】

事業別	内容	数量	金額(万円)	補助金等活用 (補助率等)
共通	送迎車両	1	400(リース 契約)	有・  金額・1/2・1/3
	ICT(請求ソフト)	1	160	有・  金額・1/2・1/3

【令和5年度補正予算(案)】

別紙

【令和6年度予算(案)】

別紙